ムハンマドによる予言

:

明:

言者ムハンマドの予言はその存命期と死 において、 しました。これらの予言は、ムハンマド(彼に神からの祝福と平安あれ)の 言者性に する明白な であると言えるでしょう。

目:事イスラ ムの真 性を示す数々の と ふンマドの 言者性に する

目: 事言者ムハンマド彼の 言者性の

より: IslamReligion.com

⊞0 Aug 2010

集日 30 Aug 2010



ある人物の 言者性を 明する方法の一つとして、 去の出来事にせよ日常生活にせよ、あるいは未来に起こることにせよ、的 に真 を述べるということが げられます。クルア ンに加え、ムハンマドが口にした多くのことには、近い未来、あるいは い未来に する、彼の存命中に成された 数の予言が含まれています。そしてその内の一部は既に し、他のものはその成就を待っているのです。 言者ムハンマドの弟子の一人フザイファは、こう言っています:

言者ムハンマドの存命期とその の第一世代の に した彼の予言は、知られ、 されているだけでも、少なくとも160に上ります。[1] ここでは、その内の一部を取り上げるだけに留めます:

- (1) 言者ムハンマドがバドルの役に先 けて、マッカの不信仰者たちからなる各 士の 死する 所を的 に言い当てたこと。バドルの役は西 623年、ムスリムたちがマッカからマディ ナへと移住した翌年に起きた、マッカの不信仰者たちとの最初の重大な でしたる
- (2) 「部族 合の役」が、クライシュ族(マッカの不信仰者たち)からムスリムたちへと向けられる最の事的 征となることを予言。このいは626年、ムスリムたちがマッカからマディナへと移住してから5年目に起き、そして事これが にとっての最の事 突となりました。そしてその数年、全マッカ市民はイスラムを受容することになります[3]

(3)

言者ムハンマドがその娘ファ ティマに、彼女が彼の没 、彼の家族で最初に死ぬであろうことを予言したこと。この中には2つの予言が含まれています: つまりファ ティマがその父 よりも く生きることと、彼女が彼の没 、彼の家族で最初に死ぬ者となることです。そしてそのいずれも しました[4]

- (4) 彼の死 にエルサレムが 合されるという予[5]
- 。この予言はブリタニカ百科事典によれば、638年にムスリムのカリフであったウマルがエルサレム入城した に、 を まし**版**。
 - (5) ペルシャ征服の予言[7]
- 。これは、ウマルの指令官サアド ブン アビ ワッカ スによってなされました。ブリタニ カ百科事典には、こうあります:

「…マディ ナにおけるムハンマドのカリフ、あるいは代理人であるアブ バクルとウマル ブン アル=ハッタ ブによって、ササン朝ペルシャ 域への攻 が迅速に行なわれました…。636年から637年にかけてのカ ディスィ ヤでのアラブの 利に き、ティグリスにおけるササン朝ペルシャの冬の首都クテシフォンが略 されます。そして642年のニハ ヴァン

ドの いで、ササン朝の 北は完全なものとなりました。[8]

(6) エジプト征服の予言[9]。ブリタニカ百科事典には、こうあります:

「アムル…は639年、 4000名(に援 が加わります)の小さな と共に、征服を行ないました。そして くべき速さでビザンチンの 力は根こそぎにされ、彼らは642年にエジプトから撤退しました…。この征服が遂行された速さに しては、多くの 明がなされています。」[10]

- (7) トルコとの に する予意
- 。最初の 突はヒジュラ 22年、ウマルのカリフ期に起きました[12]
- (8) ムスリムによる最初の海 が、海洋 征に参加した最初の女性であるウンム ハラ ムによって目 されるということの予言。また彼は、コンスタンティノ プルへの最初の に しても予言しました。[13]

ムスリムの 史上初の海 は、ヒジュラ 28年のムア ウィア 治下で起こりました。そしてそれは 言者ムハンマドの予言通り、ウンム ハラ ムによって目 されました。またムア ウィヤの息子のヤズィ ドは、ヒジュラ 52年に最初のコンスタンティノ プル を指 しました。
[14]

(9) 626年の部族 合の役という非常に 酷であった状 において、ロ マとペルシャとイエメンが征服されることを予言したこと。[15] クルア ンには、その の 子がこう描写されています:

(10) ムハンマドの存命期に、神の御名において ると自称する 欺 が、一人の正しい男によって されるという予言。[16]

て事 、アル=アスワド アル=アンスィ というイエメンの自称 言者が、彼の存命期にフ

ァイル ズ アッ=ダイラミ によって されていま[する]

またその他にも更に、最のにしてが待たれている、少なくとも28の予言があります。

これら信 性の高い による予言の数々は、ムハンマド(彼に神からの祝福と平安あれ)の 言者性に する明白な です。これらの出来事に する知 は、神による 示以外のものをもって彼が 得出来たようなものではありません。そしてその全ては、ムハンマドが 欺 などではなく、むしろ人 を地 の 火から救い出すために神から遣わされたのだ、という彼の信 性を 明するためのものだったのです。

Footnotes:

- Dr. Muhammad Wali-ullah al-Nadavi in his Master's thesis entitled, 'Nubuwwat al-Rasul,' from al-Azhar University, Cairo, Egypt.
- [2] Saheeh Muslim, Abu Ya'la.
- [3] Saheeh Al-Bukhari, Bazzar, and Haithami.
- [4] Imam al-Nawawi 'Sharh' Saheeh Muslim,'.
- [5] Saheeh Al-Bukhari
- "Jerusalem." Encyclop dia Britannica from Encyclop dia Britannica Premium Service. (http://www.britannica.com/eb/article-61909)
- [7] Saheeh Muslim.

_	[8]	"Iran." Encyclop dia Britannica from Encyclop dia Britannica Premium Service. (http://www.britannica.com/eb/article-32160)
	[9]	Saheeh Muslim.
[.	10]	"Egypt." Encyclop dia Britannica from Encyclop dia Britannica Premium Ser (http://www.britannica.com/eb/article-22358)
<u>[</u>	11]	Saheeh Al-Bukhari, Saheeh Muslim.
<u>[</u>	12]	Ibn Kathir's 'al-Bidaya wal-Nihaya.'
<u>[</u>	<u>13]</u>	Saheeh Al-Bukhari, Saheeh Muslim.
<u>[</u>	<u>14]</u>	Ibn Kathir's 'al-Bidaya wal-Nihaya.'
<u>[</u> .	<u>15]</u>	Saheeh Al-Bukhari, Saheeh Muslim.
<u>[</u>	<u> 16]</u>	Saheeh Al-Bukhari.
<u>[</u>	17 <u>]</u>	Encyclopedia of Islam.

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/379

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。